

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0870101706		
法人名	有限会社 ドウ・ライフ		
事業所名	グループホーム ゆう		
所在地	茨城県水戸市元石川町 2523		
自己評価作成日	平成22年7月10日	評価結果市町村受理日	平成22年11月2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://ibaraki-kouhyou.as.wakwak.ne.jp/kouhyou/infomationPublic.do?JCD=0870101706&amp;SCD=320">http://ibaraki-kouhyou.as.wakwak.ne.jp/kouhyou/infomationPublic.do?JCD=0870101706&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人認知症ケア研究所		
所在地	茨城県水戸市酒門町字千束4637-2		
訪問調査日	平成22年8月10日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個々が生きることの喜び、自分であることの喜びを感じていただけるような支援を心がけています。当たり前の毎日が当たり前で送れるために出来ること、いつまでも自分らしくあるために、お手伝いできることを考えサービスの提供につなげています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

市街地の喧騒から離れた静かな通りに面したホームで、田園地帯にある別荘地の様な佇まいである。市町村の境界に近いので、隣接する市町村とのかわりも多い。特に近隣住民やボランティア団体との交流も多く、地域の中のホームという色合いが強い。管理者や職員は、認知症に関する経験もち、利用者の意向を尊重する姿勢を第一にケアに取り組んでいる。利用者は穏やかな雰囲気の中、笑顔で楽しく暮らしている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・地域の中でのあり方を皆で考え、取り入れ理念にしている。理念はカードにして職員に渡し、いつでも確認出来るようにしている。	地域密着型サービス事業所としての理念を職員間で話し合っ作りあげていた。理念はカード化して、職員が常に携帯できるようにしている。職員会議などでは、そのカードをもとに全職員が話し合いに臨んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・挨拶や、出来た野菜を貰うなどの交流はある。自治会への加入はしていないが、地域の蕎麦打ちや、盆踊りなどへの参加はある。	自治会への加入はしていないが、地域のイベントには積極的に参加し、近隣住民から野菜をいただくなど地域住民との交流も多い。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・ボランティアの受け入れは行っているが、介護教室などの開催はしていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・意見などは会議で全体で話し合ったり、活動に生かせるようにしている。	利用者家族、市介護保険課職員、地域住民らによる運営推進会議を開催し、ホームの行事報告や地域イベント情報など活発に意見交換を行っている。要望・助言もあり、プリンターを設置するなど意見を運営に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・介護相談員の受け入れや、水戸市GH連絡会に加入している。	介護相談員の受け入れや市内グループホーム連絡会への参加などを通して、市町村との意見交換を行っている。また、利用者の認定情報を必ず入手するなど、保険者との連携も意識して行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束をしないケアを行う為に、スタッフとともに話し合い、そのために出来ることが何なのか考えている。しかし夜間から明け方までは防犯のため施錠している。	身体拘束に該当する行為は開設以来行っていない。また、職員は定期的に研修に参加しその伝達で周知徹底を図り、日頃のケア場面でも話し合いの中に盛り込むなど、高い意識を持ってケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・特に研修などは行っていないが、スタッフ間で共に注意しあえるように努めている。		

茨城県 グループホームゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・必要性のある方に対しては、関係者との連絡調整などを行い、話し合いを持てるような支援は行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約時の説明はきちんと行い、疑問などがあれば、その都度受けている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・家族会は特になく、意見などは運営推進会議や面会時などに受けている。	家族会は未設置だが、家族からの要望等は運営推進会議以外にも日常的な会話を通して確認している。家族からの要望を受けてウッドデッキを設置するなど、意見の反映に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・ケアに関する意見などは、その都度話し合い反映出来るよう努めている。月一回のケア会議でもそれぞれの意見をもらっている。	月1回職員会議があり、話し合いを行っている。備品購入や研修参加など即時的対応が求められる場合でも、職員は気兼ねなく管理者に申し出ることができ、管理者もすぐに対応するよう心がけている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・出来る限りそういった環境を作っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・研修への参加は、それぞれが選べるようにしている。日常に置いては、それぞれに合わせた役割などを任せていくようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・他施設での研修会などに参加させて頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・これまでの生活や問題を踏まえ、これからの繋げるよう支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・家族からの不安や苦情等はきちんと受け止め、互いに理解し合えるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・相談に応じて、他サービスの説明をさせて頂いたり、連絡調整を行い家族に繋げている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・昔ながらのこと、畑、料理と個々が得意とするところでは、本人の力を十分に発揮出来るように努め、その喜びを一緒に味わって、楽しんでいる。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・随時相談を受けたり、面会時には、一緒に食事を摂ってもらったり、いつも側にいる存在だと、互いに感じてもらっている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・今までの生活からなるべく離れてしまわないよう、家族にも協力して貰い、友人宅へ出掛けたり、図書館などへも出掛けている。	利用者が入居前に通っていた美容室や、図書館の利用、お寺での勉強会などに引き続き参加できるよう支援を行っている。市外からの利用者に対しても、近隣の商店などに通いやすいよう支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・無理に引き合わせたりせず、それぞれが気に入った場所で、ゆっくり過ごせるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・必要に応じて行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・医師や家族を交え、より安全に希望や意向に添っていけるよう、検討、実行している。	利用者との対話を常に大切にして、利用者の思いや意向が確認できたときはすぐに対応できるように行っている。また、表出された思いは個人記録にすぐに記録できるように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ライフヒストリーなどから、これまでの暮らしなど、より詳しく知る努力をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・それぞれの表現の仕方をしっかりと見ること、生活リズムや心身の状態の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ケア会議や、ミーティングなどから、スタッフの声を聞き、モニタリングを行っている。計画作成にはそれぞれの意見が組み込まれるようにしている。	毎月ケア検討会議を行い、3ヶ月に1度モニタリングを行っている。それを下支えするように、介護計画に連動した個人記録を毎日記録している。記録用紙は、かかわった職員がその都度書き込み、24時間の様子を確認できる書式になっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・スタッフの見やすい、書きやすい形で記録している。申し送り、連絡ノートにて漏れがないよう情報を流している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・外泊や選挙など、それぞれの支援に取り組んでいる。		

茨城県 グループホームゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・シルバー人材やボランティアによる作業療法などを活用し、楽しみながら活動出来る場を作っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・支援している。	ホーム・協力医・かかりつけ医の連携が密に図られていて、さらに認知症専門医(精神科医)とのつながりも強化されている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・主治医との連絡、連携を密にして対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院時は、病院、家族と連絡を取り合いながら、早期退院に向けられるよう努力している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・本人、家族の考えに一番近く、本人にとって良い結果になれるよう、医師、家族、事業者で何度も話し合いを重ね、その状態に合わせた対応がとれるよう支援している。	看取りの経験があり、ターミナル期には医師、家族を交えた話し合いを行って方針を決めている。職員は、医師からの説明や勉強会をとおして共通理解を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・定期的に救急法を受講し、いつの場合でも対応していけるような体制作りをしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・消防を入れた訓練をしている。地域との協力体制は今のところはかかれていない。	消防訓練を年一回実施し、消防署の協力を得ている。今後は、防災に関する地域との協働や訓練の頻度を増やすことで、地域を含めた防災意識の向上が期待される。	災害有事に備え、地域との連携を強化していくことが望ましい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・それぞれに合わせた、言葉やイントネーションを使い分けるようにしている。その日の精神状態などにも気をくばり言葉をかえている。	職員の利用者に対する指示的な態度、言動は見受けられず、利用者に合わせて言葉かけや対応を心がけていた。個人情報については事務所で管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・声かけにて、表情や返答などから本人の意思を読みとるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・いつも同じとは考えず、その日の言葉や行動に合わせている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・これ迄の好みや着たい洋服などは、今までと同じく着られるよう支援している。散髪なども本人の好みに合わせている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食べたいものを口に出す事から食事作りが始まると思うので、出来ることをして頂いている。外食や弁当を買ったりと、目でみたり、外に出る楽しみも一緒に行っている。	利用者同士が声をかけ合い、職員と楽しそうに準備から食事、下膳までを行っていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・一緒に食事をする事で、食事量や動作の見守りを行っている。水分にも好みを取り入れ、甘さ、冷たさなどにも気を配っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・声掛け、一部介助によって行っている。		

茨城県 グループホームゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・個々に合わせた、声かけ、誘導を行っている。	利用者の意向とアセスメントから得られた情報をもとに、排泄パターンを把握した援助を行っている。トイレ誘導を拒否する利用者に対しては、職員間で適宜話し合いを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・水分、食材の工夫も行っているが、医師にも繋げ指示をもらっている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	・ユニット別々に湯を沸かし、交互ではあるが毎日入浴出来るようにしている。	一日を通してどちらかのユニットの浴室を使用できるようにし、入浴介助は利用者のユニット担当職員が行っている。入浴を拒否する利用者には、入浴券を配付したり銭湯に連れて行くなどの対応をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・その都度、体調や気分にあわせ、午睡や就寝時間を長く取ったり、気を使うようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・記録と報告を行い、すぐに目を通せるところに保管し確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・できなくても言葉での指示をもらったり、見てもらうことで、活力が出るような場面作りをしている。出来ることは、安全に行えるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・その都度、本人の希望に合わせて、外出などができるよう努めている。外泊などは家族との連絡を密にしている。	日常的な散歩はほぼ全ての利用者が行っている。要望があれば図書館やショッピング等に出かけ、重度障害のある方には外気浴を行っている。	



茨城県 グループホームゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・それぞれの力に合わせ現金を持っている。支払時、見守りによって一緒に行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・希望で居室にも電話が引いてある。居間兼食堂に設置してある電話もいつでも使え、手紙もスタッフが出しに行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・それぞれが好きな場所で過ごせるよう空間を用意している。切り花や食材などからも、季節を感じてもらえるよう工夫している。	居間などの共用空間には園芸療法による作品が多く飾ってあった。談話室で喫煙する利用者に配慮し、空気清浄機が設置されている。季節感が感じられるような工夫があると、より望ましいと思われる。	利用者が目で見て分かるような季節感の演出について、今後の取り組みに期待したい。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・廊下やテラスにも座って頂けるようにしてあり、落ち着いて話をしたり、一人で過ごせる場も同じ空間内にも工夫し作っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・これまで使っていた物を持ってきて、自分の空間を作って頂けるよう、家族と相談し居室作りをして頂いている。	居室には仏壇や使い込まれたタンスなどが持ち込まれ、それぞれが個性的な居室となっている。家族が来訪したときでもゆっくりできるよう、ソファが持ち込まれた部屋もあった。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・当たり前の目印ではなく、何がわかりやすいのか色々あてはめ、考え工夫している。		

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・災害有時に備えての、地域との連携が出来ていない。	・地域の方と連携して、消防訓練を実施することができる。	・障害者デイ・サービス たけのこ様、セブンイレブン様、、いつも野菜をくれる近所の方に運営推進会議に出席して頂き、消防訓練にも参加して頂けるようお願いをする。	12ヶ月
2	19	・ホーム内での季節感の演出が乏しい。	・常時、季節の花や物をホーム内に設置し、ホーム内にいても季節を感じられるようにする。	・毎月のミーティングで、季節の物について話し合い提供する。 ・利用者様と出かけたときに、季節の物を摘んできたり、買ってきたりして一緒に季節を味わえるようにする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。